



おいしい給食に感謝しよう

あけましておめでとうございます。

みなさん、お正月はどのように過ごしましたか？おうちでゆっくり過ごした人もいれば、お出かけした人もいるかと思います。

長い休みのときは生活リズムがくずれてしまうことがあります。早寝早起きを心掛け、生活リズムと体調を整えていきましょう。

2026年も安心・安全なおいしい給食づくりを心がけていきます。
どうぞよろしくおねがいします。



1月 24日～30日まで

学校給食週間が始まります！！

第二次世界大戦のあと、ユニセフなどからの支援をうけ、戦争で中断していた学校給食を再開したのが、昭和21年12月24日でした。この日を記念して、「学校給食感謝の日」が設けられました。しかし、この日は全国的に冬休みになるため、その一ヶ月後の1月24日を給食記念日としています。

明治22年ころの給食(給食が始まったころ)



いまの給食とくらべて、どうでしょうか？

学校給食の歴史

平成二十年	二十九年	二十一年	十八年	七年	昭和二十二年	明治二十二年
-------	------	------	-----	----	--------	--------

学校給食法が制定される
学校給食法が改正される。
学校給食の目標が栄養補給から食育へ
戦争がはじまり、食糧不足のため各地で学校給食が中止される。
救済団体やユニセフから、小麦粉、脱脂粉乳、缶詰などが送られ、学校給食が再開される。

このころの学校給食は、それぞれの家庭から持ちよった米や野菜で作られていました。

年号

給食の流れ

学校給食の果たす役割は変わってきています！！

昔:栄養改善

⇒⇒⇒ 今:食育

給食を通して、自分の食生活や健康を見つめ考える食育の場へと変化しています・・・。

給食が食べられることは、当たり前ではありません。生産者のかた、食材を運んでくださるかた、作ってくださるかた、たくさんの人との協力があり、食べることができます。

「いただきます」と感謝の気持ちをこめて、あいさつを心がけましょう。

